

バイタルリンク運用好事例紹介（その16）

～生活情報の共有が診断や治療方針の再考に役立つ～

【事例】体重の報告（慢性心不全 90代女性）

病院からの退院後という状況、週3回のデイ利用で食事とお風呂を楽しみにしている



DS スタッフ

件名：デイサービスでの状況

※退院後7日目

体重 36.7kg 尿は結構でています。
退院直後の1週間前と比べ、下肢の浮腫は増加しています。



両足写真.jpg

1

臨床写真



医師

件名：観察のお願い

現在の状況は良いのですが、慢性心不全の急性増悪による退院直後ですので、体重や浮腫の推移に加え、食欲の変化、移乗やトイレ歩行時などの労作時息切れについても引き続き観察をお願い致します。



訪問看護師

件名：訪問の報告

※退院後13日目

体重は 38.9 kg デイでの測定時から 2.2kg 急激に増えています。
でも、とってもお元気なんです。今日の昼食の肉うどん、春菊の天ぷら、なまり節と豆苗玉葱サラダ、梅肉おにぎり、根菜煮、柿等を完食されています。
トイレ移動時の息切れはなく、夜間横になった時の息苦しさもないようです。



両足写真.jpg

2

臨床写真



退院後2週間以内

- 心不全が本格的に悪化すると体重や下腿浮腫の増加とともに、安静時の息苦しさ、“^{きざ}起坐呼吸”（臥位になると息苦くなり起坐位になると軽減する）などの症状が出現します。
- 本事例では医師が、心不全悪化の際の初期症状として出現する可能性のある**食欲低下**や**労作時息切れ**などの日常生活に密接した場面での変化を「**観察・把握して欲しいポイント**」として明示しました。



診療所看護師

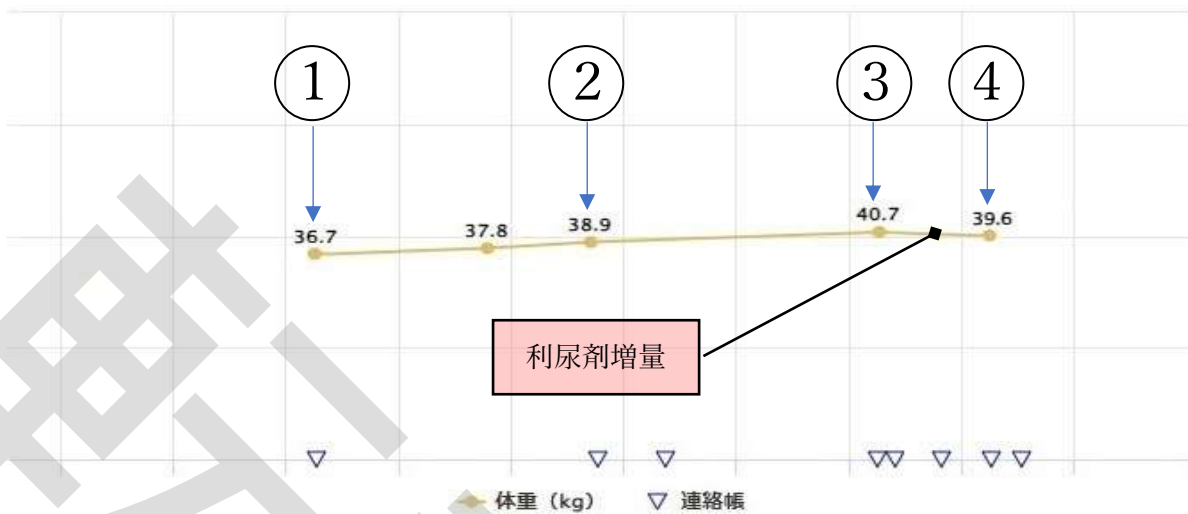
件名：治療・生活等について

患者さんの希望は「お風呂が大好きで、デイサービスで入るのが一番嬉しい。元気になりたい！伝い歩きで自分で行けるので、大便だけでもトイレに行きたいので無理してでも行っている。尿は出てしまうのでオムツと尿パットを交換している。本当は情けない。」とっておられました。
この希望を叶えるために塩分の制限・飲水の制限にも応えて下さるそうです。トイレ移動を見せて頂きましたが、下肢の浮腫と滑りやすい靴下のため転倒されそうになりました。ご本人はしきりに「この靴下が薄いから！！」とお嫁さんに訴えていました。
デイサービスで、白菜の古漬けの作り方について尋ねられたこと嬉しそうに教えてくださいました。

医師より、デイサービスでの体重測定頻度を週1（月曜）から週2（月・木曜）に変更をお願いしたい、40kgを超えたら当日中に診療所ご連絡下さいとのことでした。

医師が診察時に示したポイントである

- ①体重測定頻度の変更（1回/週から2回/週へ増加）と
- ②目標体重の範囲を共有しています



DS スタッフ

件名：デイサービスでの状況

※退院後26日目

先ほど診療所には電話にて報告いたしましたが、本日体重 40.7kg に増えていました。食欲はいつもの半分程度で落ちてきている印象です。

③



医師

件名：病院医師と相談しました

※退院後26日目

退院後約1ヶ月で4kg 増えてしまった状況です。電話で病院医師にも相談し、現在1錠処方している利尿剤を2錠に増量することにしました。本日、追加分1錠を処方しました。かかりつけ薬局と電話にて相談したところ、今日か明日中にご自宅にお薬をセットして下さるとのことでした。

退院後1ヶ月



薬剤師

件名：追加薬のセット完了、症状変化の観察報告

※退院後27日目

お電話を頂き、本日昼訪問してカレンダーにお薬をセットしてきました。医師と相談して本日は訪問時に内服して頂きました。トイレへの移動の際に少し息が切れるような様子がありました。

変化に関する情報がタイムリーに共有され、体重値の推移とあわせて心不全増悪の初期症状という医師の判断のもと、治療方針変更につながった



DS スタッフ

件名：デイサービスでの状況

※退院後30日目

体重 39.6kg に減っており、先週と比べて食欲が戻りつつあります。

④



医師

件名：今回は急性増悪を回避できそう

体重は下がってきていて、心不全症状も改善しつつあると判断しました。今後、利尿薬の効きすぎで体が脱水に傾くことも避けたいところです。利尿薬の調整を行いたいので、もうしばらく1週間に2回の体重測定をお願いします。37~40kg の範囲から外れた場合は当日中に診療所にご連絡下さい。

利尿薬増量後に心不全症状は改善し、再入院を防ぐことができた